

平成 2 8 年度

倉養振興会報



KURAYO-No.86

倉吉養護学校教育振興会

I 会の目的と総会について

本会は、奉仕の精神に基づき、鳥取県立倉吉養護学校の理解と振興を図り、広く障がいのある児童生徒の福祉の増進に努めることを目的とし設立しました。毎年6月ごろ総会を開催し事業や予算を決定しています。今年度は、6月17日（金）に本校校長室で開催しました。

II 主な事業の紹介

1 行事を通じての交流推進

- ① 平成28年5月14日（日）に鳥取市布勢のコカコーラウエストスポーツパークで開催された「第8回鳥取県障がい者スポーツ大会」に、本校から25名が参加し、女子50m走で優勝するなど多数の入賞者がありました。



- ② 平成28年5月21日（土）の「倉養大運動会」は、天候にも恵まれ、多くの保護者や来賓のご臨席のもと、盛大に開催することができました。当日は体育館と校庭で演技が始まり、午後には全員が校庭の芝生の上で楽しく活動しました。



- ③ 平成28年9月1日(木)「5校交流会」当日は、快晴の青空の中、県内知的障がい特別支援学校5校の高等部生徒が、陸上競技やゲームを通して交流を深めました。100m走や400mリレーでは、普段の練習の成果を発揮して、たくさんの生徒が入賞しました。



- ④ 平成28年10月8日(土)「くらよう祭」当日は、小雨の降るあいにくの天候でしたが、多くの来校者がありました。日頃お世話になっている業者の出店も多くあり、大変盛り上がりました。ご協力ありがとうございました。



⑤ 平成28年12月10日（土）の「くらようショップ」も、あいにくの小雨まじりの天候でしたが、沢山の来校者があり、作業製品はほとんどのコーナーが完売しました。ご協力ありがとうございました。



2 交流学习の推進及び体験学習・体験入学

本校での交流は、本年度、小学部が2校2回、中学部が2校2回、高等部が2校2回でした。写真はB中学部の交流と、倉吉農業高等学校との交流の様子です。居住地校交流は、小学部児童が16名、中学部生徒が6名行いました。また、体験学習は、小学部が9人12回、中学部が9人8回、高等部が12人8回で、合計30人で28回行われました。



3 「倉養ばやし」の育成

本校の伝統芸能「倉養ばやし」を10月8日（土）「くらよう祭」で披露しました。小学部4名、中学部19名、高等部22名の合計45名の熱演で、大きな拍手をいただきました。



4 部活動の支援

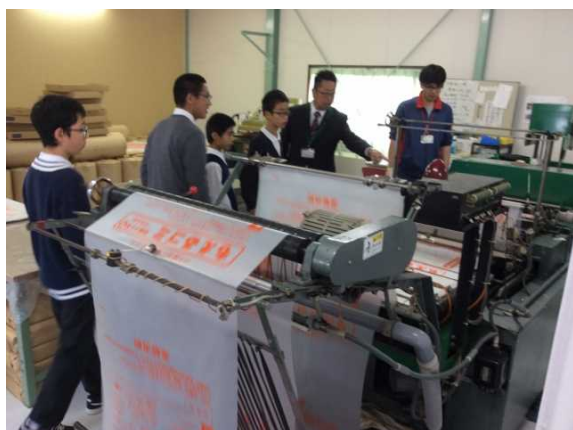
- ① 9月11日（日）に鳥取市の湖山池周辺で開催された「第28回鳥取さわやか車いすマラソン&湖山池マラソン大会」に21名が参加し、女子1kmで1位と2位に、電動車いす500mの部で3位に入賞するなどの活躍でした。



- ② 11月26日（土） 琴浦町トレーニングセンターで行われた部活動交流に、高等部の生徒12名が、卓球・バドミントン・バスケットボールに分かれて参加し、交流を深めました。
- ③ 12月に倉吉未来中心で開催された「障がい者フォーラム・ステージ発表」に、本校ダンス部が出演予定でしたが、中部地震に伴う予定変更等により、参加することができませんでした。

5 進路保障の充実

- ① 毎年、生徒たちの就職先を広げるため、職場開拓が行われています。今年度は、事業所12箇所、福祉施設5箇所、合計17箇所が、開拓されました。
- ② 中学部や高等部の生徒たちが卒業後の進路について考える機会とするため、職場見学や産業現場等における実習に取り組んでいます。産業現場等における実習は、毎年中学部が2学期に、高等部が1学期と2学期に行っています。下記の写真は、中学部の職場見学の様子です。



- 6 会員募集 本年度の会員数は延べ202名で、会費合計は222,000円でした。

ご協力ありがとうございました。